

考古学研究

	概要	発行年	2022特別頒価		定価 (送料)
			会員特価	非会員価	
209号 (53-1)	型式と素地/陶器窯跡群の地域差と技術拡散/韓国における陥し穴と狩猟法の検討/特集 これからの博物館を考える/日本水中考古学発展への模索/考古学研究会関西例会シンポジウム「都城周辺の都市的景観」参加記/狩猟採集民研究をめぐる新たな関係/考古学と時空間情報(1)	2006	¥300	¥500	¥900
210号 (53-2)	儀礼と交換/5, 6世紀の日朝交渉と地域社会/異文化・商品・共生/有孔鉄鏃からみた古墳副葬鉄鏃の系譜/遺跡の保護と行政改革/ブリテン石室墳研究の現状/第19回国際放射性炭素会議参加記/分子人類学と考古学/考古学と時空間情報(2)	2006	¥300	¥500	¥900
211号 (53-3)	縄文時代蛇紋岩製石斧の流通/瓦当文様の受容に関する一考察/武蔵野台地北部における野水と後期旧石器時代遺跡群の展開/石見型埴輪の分布と樹立古墳の様相/奈良県四分遺跡出土の弥生時代人骨における傷痕の形態学的分析/考古学と時空間情報(3)	2006	¥300	¥500	¥900
212号 (53-4)	「博多湾貿易」の成立と解体/打製石斧と横刃型石器の器種認定/東京都下宅部遺跡における ¹⁴ C年代研究/南海産貝輪生産活動の研究/国際学会「ネアンデルタール人発見150年」参加記/陵墓問題2006/認知心理学と認知考古学/考古学の新天地(4)	2007	¥300	¥500	¥900
213号 (54-1)	敲打製石製品の製作技術/大規模集落と手工業生産にみる弥生中期後葉の長野盆地南部/古墳時代前期の刀装具/水中考古学と海事考古学の定義に関する問題/神奈川県における埋蔵文化財行政の現状/スウェーデンの遺跡保護制度と事前調査の実際/発掘現場の地球科学(1)	2007	¥300	¥500	¥900
214号 (54-2)	縄文社会の変容と弥生社会の形成/銅鏡生産の変容と交流/AMS ¹⁴ C年代測定試料の検討と縄紋住居居住期間の推定/古典期マヤ国家の権力基盤/特集 博物館制度はどう変わるのか/陵墓をめぐる2007年度上半期の動向/考古学とロボット/発掘現場の地球科学(2)	2007	¥300	¥500	¥900
215号 (54-3)	狩猟具から見た旧石器時代社会の変容と交流/古墳時代初頭の瀬戸内海ルートをめぐる土器と交流/関東における古墳形成の特性/中央高地における縄文時代の黒曜石消費量の推移/埴輪生産からみた須恵器工人/出土繊維調査 藤ノ木古墳から勝負砂古墳へ/発掘現場の地球科学(3)	2007	¥300	¥500	¥900
216号 (54-4)	中国地方縄文時代中・後期の居住形態/蝦夷の武装/中世北東アジアにおける窯業生産・物流システムの変遷と構造/N. G. Munroと鳥居龍蔵/関西例会記念シンポ「古墳時代の首長居館をめぐる諸問題」参加記/歴史資料ネットワークの活動と月の輪古墳発掘運動/発掘現場の地球科学(4)	2008	¥300	¥500	¥900
217号 (55-1)	弥生時代の重複住居からみる集落の動態/都市と「伝統」の創出/形成理論の課題/特集 大阪府の博物館「見直し」問題を考える/五社神古墳(現神功皇后陵)の立入り観察に参加して/変革期の考古学者(1)/資料『今後の埋蔵文化財保護体制のあり方について(報告)』	2008	¥300	¥500	¥900
218号 (55-2)	奈良盆地の古墳時代集落と居館/6, 7世紀の宮と支配関係/弥生時代における土器生産の展開/古気候データから見た考古遺跡における洪水痕跡/小特集 各地の埋蔵文化財保護体制'2008'/現代思想と考古学/変革期の考古学者(2)	2008	¥300	¥500	¥900
219号 (55-3)	先史-古代の集落・都市と集団関係/縄文時代の環状集落と集団関係/弥生集落の集団関係と階層性/近畿前期弥生土器再編/特集 発掘調査資格制度を考える/世界に発信する日本考古学/前代表委員 河瀬正利さんの逝去を惜しむ/変革期の考古学者(3)/地域情報 宮城だより	2008	¥300	¥500	¥900
220号 (55-4)	弥生時代開始年代をめぐる炭素14年代測定土器の検討/生駒山西麓地域における古墳時代中期の古墳群形成の特質/サンゴ礁漁撈の民族考古学/先史人種論争と考古科学史/特集 続、発掘調査資格制度を考える/龍と特殊器台/変革期の考古学者(4)	2009	¥300	¥500	¥900
221号 (56-1)	朝鮮半島中南部における有柄式磨製石剣の編年と地域性/陶器編年と九州の古墳時代須恵器について/コイ科魚類の咽頭歯と考古学/発掘調査資格制度の課題/『文化財行政のあり方勉強会』/日南市の歴史を活かしたまちづくり/考古学と文献史学(1)/地域情報 兵庫だより	2009	¥300	¥500	¥900
222号 (56-2)	古人骨資料から見た縄文時代の社会集団/縄文・弥生時代の祖先祭祀と親族組織/北海道における縄文時代中・後期の「平地住居跡」とその暦年代/古墳時代中期における韓式軟質土器の受容過程/縄文時代初頭の石材消費と移動形態/考古学と文献史学(2)	2009	¥300	¥500	¥900
223号 (56-3)	近代日本の文化財と陵墓/近畿地方弥生時代の親族集団と社会構造/古墳時代における父系化の過程/前方後円墳廃絶期の暦年代/古墳のデジタル測量と空間データ処理/群集墳被葬者層における須恵器の流通について/特集 イギリスの考古学の授業/考古学と文献史学(3)	2009	¥300	¥500	¥900
224号 (56-4)	周辺地域における集団秩序と統合過程/日本列島初期の轡の技術と系譜/古代吉備における鉄生産の衰退/大英博物館「THE POWER OF DOGU」展と東京国立博物館「国宝 土偶展」/スミソニアン博物館のオープンハウス/コナベ古墳の限定公開/考古学と文献史学(4)	2010	頒布終了		
225号 (57-1)	粘土帯土器文化期から原三国時代の社会と副葬習俗の変化/倭における有機質製帽冠の系譜とその展開/スジガイ由来の器財と文様/近江系飛雲文軒瓦の年代と背景/発掘調査資格の国際比較/戦争遺跡を問い直す(1)/地域情報 北海道だより	2010	¥300	¥500	¥900
226号 (57-2)	縄文時代における階層性と社会構造/弥生社会の組織とその成層化/生産地分析からみた北武蔵の埴輪生産/7世紀末〜8世紀における土師器煮炊具の地域色/古墳の墳丘高/古代、金属装鉄刀の暦年代/第14回戦争遺跡保存全国シンポジウム南風原大会参加記/戦争遺跡を問い直す(2)	2010	¥300	¥500	¥900
227号 (57-3)	古墳時代における階層構造/聖俗二重王権の構造/東北地方のナイフ形石器/縄文から弥生へ/鳥居龍蔵の朝鮮半島調査実施時期をめぐる/白保竿根田原同区追跡の発掘調査と沖繩における更新世人類研究の現段階/戦争遺跡を問い直す(3)/地域情報 高知だより	2010	¥300	¥500	¥900

	概要	発行年	2022特別頒価		定価 (送料)
			会員特価	非会員価	
228号 (57-4)	座談会『発掘調査のてびき』をめぐって/記念物指定制度の90年/弥生時代北部九州における両刃石斧の消費形態/考古資料にみられる分布境界領域の様相/百舌鳥古墳群における近代の史蹟指定/史跡巨勢山古墳群の毀損について/発掘報告書の閲覧環境整備に向けて/戦争遺跡を問い直す(4)	2011	¥300	¥500	¥900
229号 (58-1)	前方後円墳の設計原理試論/マヤ文明の環境利用例としての石器製作と戦争/黒土田遺跡の堅果類と縄文時代草創期土器群の年代に関する一考察/霞ヶ浦南岸における地形発達が縄文時代遺跡分布の認識に及ぼす影響/横穴式石室の型式は被葬者の活躍期を示す	2011	¥300	¥500	¥900
230号 (58-2)	考古学研究会震災緊急フォーラム報告/土器カテゴリの継承・変容/関東地方における古墳出土石製模造品の製作構造について/伊那盆地における縄文時代晩期の雑穀/古代都城における曹司の変遷/根来寺旧境内遺跡はこのままでいいのか/座談会『発掘調査のてびき』その後	2011	¥300	¥500	¥900
231号 (58-3)	私たちはどこにいるか/日本考古学の時代区分/「世界」史の中の弥生文化/荒川台型細石刃石器群の形成と展開/不定形石器の使用痕・剥離面分析/焼失住居からみた弥生時代の竪穴住居/特集 震災に向き合う考古学(1)/ココが聞きたいッ！考古学の最前線/地域情報 山口だより	2011	¥300	¥500	¥900
232号 (58-4)	古墳築造周縁域における境界形成/埋めこまれた「原日本」/多賀城の墓制/イラン北部、鉄器時代における葬送儀礼の機能的変化/特集 震災に向き合う考古学(2)/口蹄疫・新燃岳噴火・東日本大震災『考古学から「今」を考える』講演会参加記	2012	¥300	¥500	¥900
233号 (59-1)	日朝における胡録金具の展開/陶棺からみる畿内と吉備/群馬県中野谷松原遺跡に見る縄文時代前期の社会変化/縄文時代人の食性と集団間移動/特報 文化財からみた東日本大震災レポート/特集 震災に向き合う考古学(3)/ココが聞きたいッ！考古学の最前線/地域情報 埼玉だより	2012	¥1,000	¥1,200	¥900
234号 (59-2)	考古学による日朝関係史研究の現状と課題/集落址研究と時間尺度/弥生土器様式論/古墳時代首長墓系譜論の系譜/高麗王朝時代の朝鮮半島在来船研究と日本伝統船舶の発展論/特集 震災に向き合う考古学(4)/シンポジウム「農耕の起源」に参加して	2012	¥1,000	¥1,200	¥900
235号 (59-3)	日本考古学の方法論/縄文後期における多数合葬墓の埋葬過程/弥生時代の分銅/斜縁神獣鏡・斜縁四獣鏡の製作/特集 震災に向き合う考古学(5)/くらしとかわる文化財のこれから/根来寺遺跡を愛する人はいないのか/ココが聞きたいッ！考古学の最前線/地域情報 大阪府だより	2012	¥1,000	¥1,200	¥900
236号 (59-4)	東の山と西の古墳/南武蔵における戦国期の土器皿からみた地域圏/縄文晩期土器の製作工程の変化/オマーン内陸域における歴史景観分析/戦時体制下の古墳保存行政/フランスの世界遺産ネットワーク/土師ニサンザイ古墳（東百舌鳥陵墓参考地）限定公開参加記	2013	¥1,000	¥1,200	¥900
237号 (60-1)	古墳時代の矢の構造/古墳時代後・終末期の喪葬観念/本州東北部にアイヌ語系地名を残したのは誰か/特報 2 文化財からみた原子力災害と復興調査/箸墓古墳と西殿塚古墳の立ち入り観察/ココが聞きたいッ！考古学の最前線/地域情報 千葉だより/たより	2013	¥1,000	¥1,200	¥900
238号 (60-2)	遺跡調査と保護の60年/パブリック・アーケオロジの観点から見た考古学、文化財、文化遺産/縄文時代後晩期の伊豆・箱根・富士山の噴火活動と集落動態/リモートセンシングによる石垣島サンゴ礁形成史の地域差推定/黒曜岩の語源/国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開参加記	2013	¥1,000	¥1,200	¥900
239号 (60-3)	現代社会と考古学の交錯/朝鮮古蹟調査事業と「日本」考古学/時空間情報科学・サービスとしての遺跡調査と情報統合/石材資源調達の経済学/環付足金具をもつ鉄刀の編年/福島県の変遷事故被災地を訪問して/文化財の返還について/地域情報 長野だより	2013	¥1,000	¥1,200	¥900
240号 (60-4)	北海道恵庭市カリンバ遺跡の大型合葬墓と埋葬様式/中国地方における造瓦工人集団の展開/種実由来土器圧痕の解釈について/6世紀前半の環境変動を考える/マヤ南部周縁地域における戦いの痕跡/初期国家論研究の成果と現在/東日本大震災の復興事業に伴う埋蔵文化財保護の取り組み	2014	¥1,000	¥1,200	¥900
241号 (61-1)	ヤブチ式土器と貝器文化/瀬戸内海東部における凸帯文土器の変遷と展開/紀伊における飛鳥・白鳳期の軒瓦の系譜と地域性/韓半島青銅器時代における集落の石器組成比較と生業/群馬県金井東裏遺跡の発掘調査と「古墳総合調査」の取り組み	2014	¥1,000	¥1,200	¥900
242号 (61-2)	世界から見た日本考古学/世界の中の縄文文化/世界の中の弥生時代/内折口縁土器について/弥生時代後期・終末期の勾玉からみた地域間関係とその変容/アムール川流域における先住民村落の景観史/ココが聞きたいッ！考古学の最前線	2014	¥1,000	¥1,200	¥900
243号 (61-3)	世界の中の古墳時代研究/世界の中の日本人考古学者/世界が変わるとき/縄文時代中期における土器使用の研究/先古典期マヤ文明の遠距離交換と石器製作/さあ議論を始めよう/アジア・太平洋地域水中文化遺産会議と共有海事遺産の概念について/北米理論考古学会2014年大会参加記	2014	¥1,000	¥1,200	¥900
244号 (61-4)	まれびとの訪い/日本列島における鉄剣の出現とその系譜/古墳時代中期の埴輪生産/ふくしまの復興/シンポジウム「震災復興と埋蔵文化財」参加記/2月に考えたこと/考古学研究会創立のころ/考古学研究会との出会い/ココが聞きたいッ！考古学の最前線	2015	¥1,000	¥1,200	¥900
245号 (62-1)	「木組遺構」再考/考古学的視点から見た肥前西部地域の流通構造/沖縄諸島におけるくびれ平底土器群の再検討/イスラームは文化財を破壊するのか？/4年を経た被災地宮城から/考古学研究会創立のころ/考古学研究会創立60周年記念企画「会誌でみる考古学研究会の60年」(1)	2015	¥1,000	¥1,200	¥1,250
246号 (62-2)	酸素同位体比年輪年代法がもたらす新しい考古学研究の可能性/更新世から完新世への推移と人間活動/考古学的手法を用いた火山災害研究/縄文土偶の終わり/連載 アートな考古学の風景①/考古学研究会創立のころ/考古学研究会との出会い/「会誌でみる考古学研究会の60年」(2)	2015	¥1,000	¥1,200	¥1,250
247号 (62-3)	環境変動と考古学研究/水田遺跡の調査をめぐる学際的アプローチ/炭素14年代の検証と倭国形成の歴史像/粘土槨の展開過程とその画期/栗原市入の沢遺跡シンポジウムに参加して/岡山市百間川分支部の江戸時代治水遺跡とその保護/連載 アートな考古学の風景②/考古学研究会創立のころ	2015	¥1,000	¥1,200	¥1,250

	概要	発行年	2022特別頒価		定価 (送料)
			会員特価	非会員価	
248号 (62-4)	日本列島における漢鏡の東方拡散と保有・廃棄の意義/出土埴輪の原位置論的分析と破壊力学的検討から考える古墳の破壊/古典期マヤの都市国家におけるイデオロギーのせめぎあい/連載 アートな考古学の風景③/「会誌でみる考古学研究会の60年」(3)	2016	¥1,000	¥1,200	¥1,250
249号 (63-1)	「藻塩焼く」の考古学/結合構造からみた組合せ鋳の機能と地域性/盤上遊戯「樗蒲かりうち」の基礎的研究/松帆銅鐸発見記念シンポジウムに参加して/渋谷向山古墳事前調査のいわゆる「限定公開」参加/連載 アートな考古学の風景④	2016	¥1,000	¥1,200	¥1,250
250号 (63-2)	食の多様性と気候変動/地形発達と耕地利用からみた弥生・古墳時代の地域社会/古代浜名湖周辺にみる自然の変化と社会の変容/煉瓦の規格比定による旧池田トンネル竣工年代の推定/遺跡・ナシヨナリズム・先史学/連載 アートな考古学の風景⑤/「会誌でみる考古学研究会の60年」(4)	2016	¥1,000	¥1,200	¥1,250
251号 (63-3)	縄文時代の環境変動と植物利用戦略/奄美・沖縄諸島貝塚時代における社会組織の変遷/縄文時代における注口付浅鉢の成立過程と煮沸具化の意義/考古学理論の転変と史的背景に関する一試論/特集 第8回世界考古学会議京都大会 (WAC-8) から考える 1/連載 近・現代の戦争遺跡①	2016	¥1,000	¥1,200	¥1,250
252号 (63-4)	縄文時代後期広域土器分布圏の変遷とその特質/古代畿内における集落再編成と土地開発/特集 第8回世界考古学会議京都大会 (WAC-8) から考える 2/ハノイ国家大学人文社会科学大学の考古学実習を見学して/能褒野古墳群(能褒野墓)の立会調査見学参加記/連載 近・現代の戦争遺跡②	2017	¥1,000	¥1,200	¥1,250
253号 (64-1)	グスク時代琉球列島の土器/再生された四隅突出型墳丘墓/近畿地方出土鉄鋒の基礎的研究/西北九州型片刃石斧の再検討/獣骨と人骨の焼骨共伴例/淡輪ニサンザイ古墳(「五十瓊敷入彦命宇度墓」)の立会調査見学参加記/連載 近・現代の戦争遺跡③	2017	¥1,000	¥1,200	¥1,250
254号 (64-2)	火山災害への狩猟採集社会の対応/局地的災害痕跡と埋蔵文化財調査/変容する縄文原体とその背景/竪穴式石室にみる地域性とその意義/出雲・伯耆西部における古墳時代後期後半の異系統円筒埴輪の融合/「共謀罪」と考古学研究/連載 近・現代の戦争遺跡④	2017	¥1,000	¥1,200	¥1,250
255号 (64-3)	世界と日本における火山災害の歴史学的研究/近世琉球における津波被害と村落変遷/メソアメリカ文明と火山噴火/古墳時代馬具における繋の変化とその背景/特集「学校と考古学」/世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群登録への軌跡/「会誌でみる考古学研究会の60年」(5)	2017	¥1,000	¥1,200	¥1,250
256号 (64-4)	弥生時代の<神話>/古墳時代洞穴墓葬の類型/特集「学校と考古学」/連載 近・現代の戦争遺跡⑤⑥/考古学動作連鎖研究の社会的効用/日本考古学用語と独英オンライン辞典の紹介/第4回全国史料ネット研究交流集会参加記/考古学研究会活動のデジタル化に関する現状と展望	2018	¥1,000	¥1,200	¥1,250
257号 (65-1)	縄文時代廃屋墓における追葬・改葬行為/斧形石製模造品の一様相/古墳時代中期における古市古墳群出土埴輪の系統と生産/釘野千軒遺跡出土の近畿系土器群/特集「学校と考古学」第2部/淡輪ニサンザイ古墳(宇度墓)および佐紀陵山古墳の立会調査見学	2018	¥1,000	¥1,200	¥1,250
258号 (65-2)	モニュメントは権力の象徴なのか/ハワイ・ポリネシアの首長制社会とコスモヴィジョン/日本における鉄製武器の生産・流通と国家権力の形成/弥生時代の計量技術/二軒在家原田頭遺跡と群馬県西部の弥生中期土器編年/現代沖縄における野営炉址の調査/特集「学校と考古学」第2部	2018	¥1,000	¥1,200	¥1,250
259号 (65-3)	狩猟採集社会における戦争/古代寺院と国家と地域社会/日本諸島における弥生時代/沖縄本島におけるグスク時代の階層化/石川県小松市八日市地方遺跡出土の層灰岩製片刃石斧と三面石斧をめぐって/特集「学校と考古学」第2部/カザフスタンとキルギズスタンの世界遺産	2018	¥1,000	¥1,200	¥1,250
260号 (65-4)	表出圧痕は圧痕全体を代表するのか/縄文時代における洞穴遺跡数の推移/マリアナ諸島における網代圧痕土器の予察的研究/特集「学校と考古学」第3部/文化財保護業務の課題と展望/アートと考古学の眼差しで見るコミュニティの記憶/縄文時代開始暦年代と草創期の環境	2019	¥1,000	¥1,200	¥1,250
261号 (66-1)	九州における弥生勾玉の系譜/鳥居龍蔵の1923年度朝鮮石器時代調査/外縁付鈕2式における銅鐸工人集団の関係/特集「学校と考古学」第3部/ラオス考古学支援プロジェクト/高屋城・高屋築山古墳の立入り観察	2019	¥1,000	¥1,200	¥1,250
262号 (66-2)	弥生時代青銅器の生産と流通から捉えた権力/石材資源調達と経済学(続)/弥生時代前半期における大型甕棺の地域性発現とその動態/久米寺式軒瓦の成立と展開/50回を経た東京例会/考古学研究会東京例会第50回記念シンポジウム「最新研究が解き明かす考古学からみた関東地方	2019	¥1,000	¥1,200	¥1,250
263号 (66-3)	縄文時代の土器生産と権威の発生/埴輪の生産・流通からみた古墳時代の権力生成/古墳年代からみた日韓出土方格T字鏡十二支帯鏡群の型式学/古墳時代石柁・石臼の成立からみた水銀朱使用の画期とその背景/長原タイプ土偶の系譜	2019	¥1,000	¥1,200	¥1,250
264号 (66-4)	日本古代の銅生産と流通/加曾利B式土器の再評価/弥生時代における低地集落と高地性集落/垂下口縁釜B類について/考古学教育と埋蔵文化財保護行政における人材確保の在り方について/第51回考古学研究会東京例会 特集「古墳時代前期前半の東日本を考える」参加記	2020	¥1,000	¥1,200	¥1,250
265号 (67-1)	古墳時代中期における王権中枢古墳群の埴輪生産/小林行雄「ぎしゃと民家」を読む/縄文時代前期前葉における岩偶の遺跡間変化とその要因/考古遺物から見た弥生時代の天秤/感染症と考古学/連載 模擬古墳①/文化財とSDGsの接点	2020	¥1,000	¥1,200	¥1,250
266号 (67-2)	群馬県金井東裏遺跡1号男性の研究/中世末期播磨・畿内における瓦工人系統再考/第34回考古学研究会東海例会「荒尾南遺跡を読み解く〜集落・墓・生業〜」参加記/2019年度陵墓立入り観察について/連載 模擬古墳②	2020	¥1,000	¥1,200	¥1,250
267号 (67-3)	洞穴遺跡と打製石鏃の小型化/弥生時代の東日本出土鉄製武器にみる鉄器製作技術/常総地域の箱式石棺からみた古墳時代後半期の埋葬行為/日本学術会議会員任命拒否をめぐって/八日市地方遺跡発見90周年記念フォーラムWEB参加記/連載 模擬古墳③	2020	¥1,000	¥1,200	¥1,250

	概要	発行年	2022特別頒価		定価 (送料)
			会員特価	非会員価	
268号 (67-4)	縄文時代後晩期におけるニホンジカの利用とその時期差/大珠分割に見る「糸切技術」/無文土器・弥生土器の変容過程について/メソアメリカの農耕定住と社会の複雑化/エジプト・ナカダ文化の波状把手付壺の地域相と系統分化/コロナ禍対策の1年	2021	¥1,000	¥1,200	¥1,250
269号 (68-1)	弥生時代の北部九州における鉄剣生産の再検討/再考 貞観津波/平安時代陸奥国における陶磁器模倣とその地域性/高輪築堤の保存について/連載 東日本大震災から10年(1)/連載 模擬古墳④/近畿地区文化財専門職説明会のオンライン開催と後継者育成/第35回考古学研究会東海例会開催報告	2020			¥1,250
270号 (68-2)	古代道路の象徴性/北海道島北部におけるオホーツク文化の石器利用/『日本書紀』紀年の再検討/墓壇内破碎土器供献の終焉/東京都港区高輪築堤の保存問題をめぐって/鉾山遺跡の調査研究を推進し保存活用を/連載 東日本大震災から10年(2)	2020			¥1,250
271号 (68-3)	資源・水利・農業と政治統合/狩猟採集社会における有力者の権能/水利開発と地域権力/有鉤銅釧生産の展開/山陰地域における古墳出現期土器の編年と製作技術/「旧海軍大社基地遺跡群」(島根県出雲市)の保存について/連載 東日本大震災から10年(3)	2020			¥1,250
272号 (68-4 最新号)	植物資源利用から見た縄文時代の生活基盤の整備/弥生時代中期瀬戸内地域における石庖丁流通の特質/常総地域における後・終末期古墳の階層性/広島市サッカースタジアム建設予定地の発掘調査と検出遺構の取り扱いをめぐって/神武紀元と辛酉革命論	2021			¥1,250